

ワールド ウッド トренд

No. 6, 11 MAY 2017

韓国の山林認証制度の概要¹

1. 山林認証制度のビジョン、目標、課題、認証プロセス

韓国の山林認証制度では、山林から生産された林産物（木材及び非木材林産物）を生産・加工・流通して最終製品までの全過程について認証が適用される。同制度は、山林認証を受けた山林所有者や会社に対し、消費者が認証製品を選択することで、直・間接的に山林の持続可能な管理を支援するとともに、持続可能な山林経営の拡大を目指している。

また、目標として次の内容を掲げている。

- 山林認証の活性化を通じた国内林産業の付加価値向上
- 持続可能な山林経営の支援及び私有林の経営活性化
- 山林認証の原材料意識別の履歴管理体系の確立
- 認証製品の国内流通基盤及び消費者の信頼確保
- 国内相互認定を通じた認証会社の国際競争力の向上

また、山林認証制度を推進していくため、以下の課題の解消が必要とされている。

- 韓国山林認証委員会の運営及び標準整備
- 山林認証教育プログラム及び現況情報の構築
- 山林認証活性化のための広告及びインセンティブ推進
- 国際山林認証制度（PEFC）連携に伴う国際化

2. ミッション

図 1 に示すことの達成は、同国の山林認証制度のミッションとして明示されている。

¹ 現地レポートの内容を掲載した「天竜材海外輸出検証事業調査報告書」の関連内容を基に編集したもの

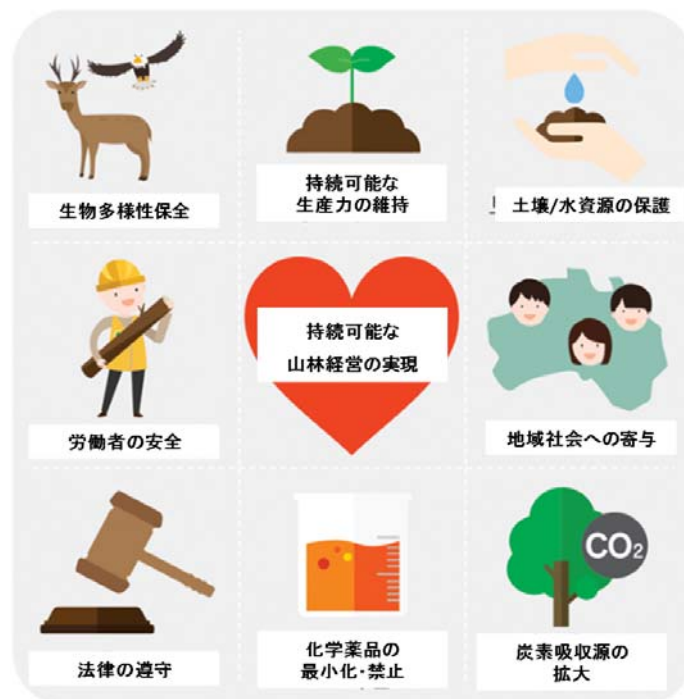


図1 韓国の山林認証のミッション（イメージ）

3. 認証プロセス

同国の山林認証の認証プロセスは、図2に示すとおり。

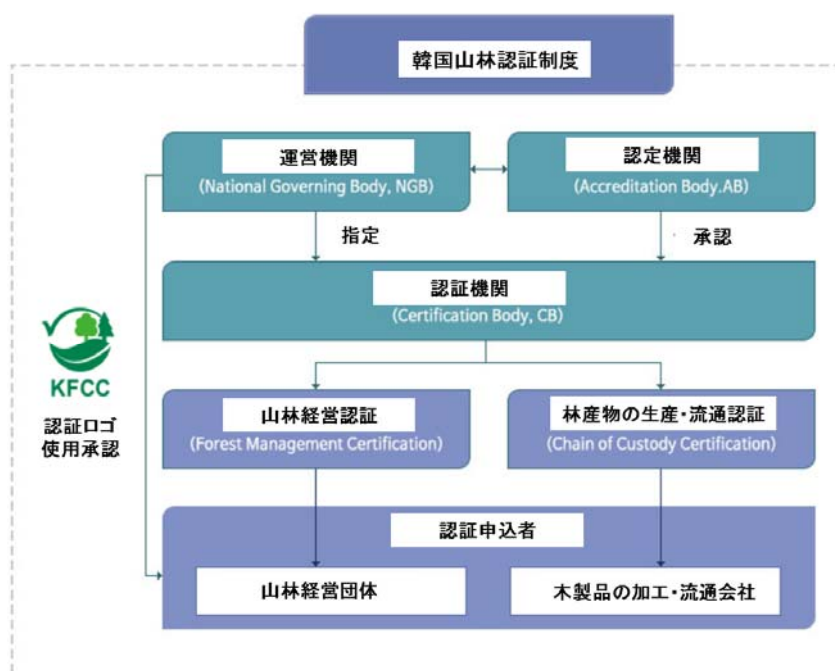


図2 韓国の山林認証における認証プロセス

✦ 運営機関（NGB）：韓国林業振興院（KOFPI）

韓国山林認証制度の運営を主管する組織として認証標準（Standard）の制定・改正、ロゴライセンス発給、認証機関の公示、制度広告及び教育など山林認証と関連する仕事を総括する。

✦ 認定機関（AB）：韓国認定支援センター（KAB）、国家技術標準院（KAS）

国際認定機関協力機構（International Accreditation Forum, IAF）で登録されている団体として第三者認証機関の適合性を評価する。

✦ 認証機関（CB）

認定機関（AB）から適合性の承認を受けた機関として韓国山林認証制度の要求事項を遵守し、実地的な山林認証に対する審査を担当する。認証機関は ISO/IEC 17021 及び ISO/IEC 17065 を遵守しなければならないし、また ISO 19011 の認証機関に対する定義によって監査及び品質・環境経営システムに対する基準を満たさなければならない。

4. 山林認証ロゴ

同国の山林認証の認証ロゴは、図 3 のとおり。



図 3 韓国の山林認証ロゴ

5. 山林認証委員会

同国の山林認証委員会の構成は、図 4 のとおり。

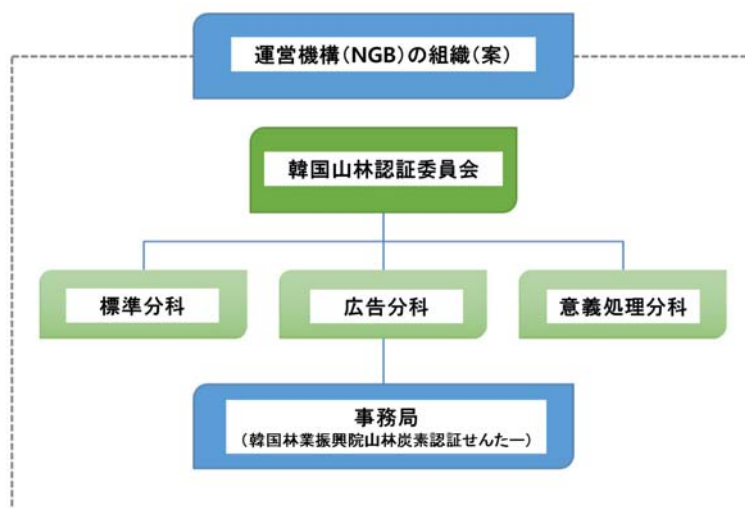


図4 韓国山林認証委員会の構成

6. 韓国山林認証の種類及び対象

韓国の山林認証には、下図に示すとおり山林経営認証（FM 認証）及び林産物生産・流通認証（CoC 認証）の2種類がある。



図5 韓国山林認証の FM 認証、CoC 認証

認証申請の対象は、図 6 に示すとおり。



図 6 韓国山林認証の認証対象

7. 認証手続き及び方法

➡ 認証手続

認証手続きは、図 7 のとおり。

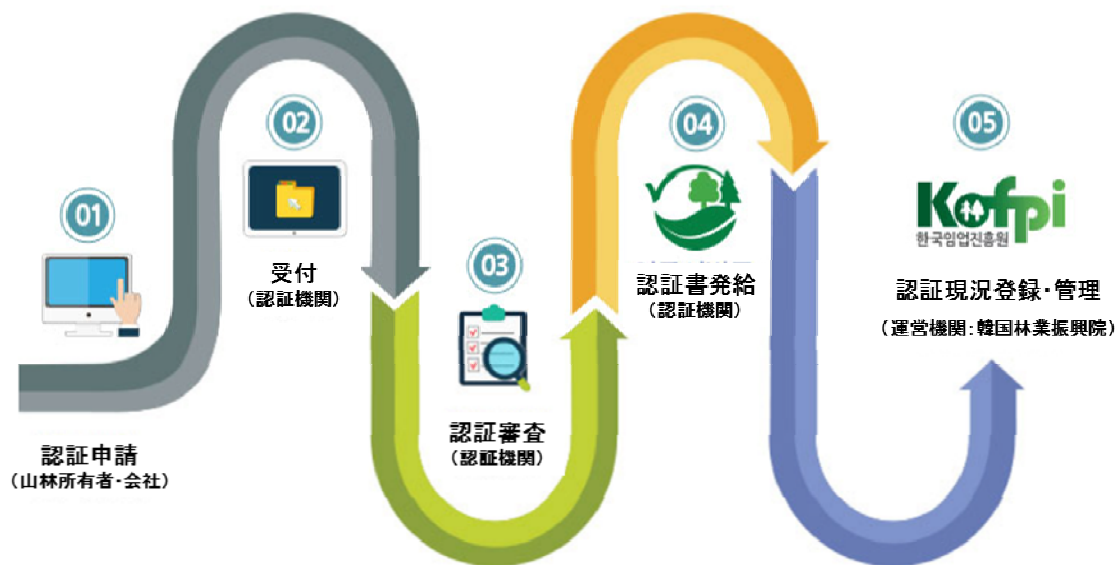


図 7 韓国山林認証の認証手続

➡ 認証方法

認証申込書作成及び提出 → 予備審査 → 本審査 → 維持審査 → 更新審査・認証書の再発給

8. 認証機関

➤ 認証機関の認定及び公示

IAF(International Accreditation Forum)に登録された認定機関からの認定(Accreditation)を受けた認証機関は、韓国山林認証委員会で承認(Notification)申請後に山林経営認証及び CoC 認証に対する認証機関として活動が可能。

- 山林経営認証 (FM 認証) の認証機関：1 ヲ所
韓国 SGS (所在：ソウル市、電話：02-709-4650)
- 林産物生産・流通認証 (CoC 認証) の認証機関：現在なし
- 認証機関の認定結果の公示：図 8 のとおり。

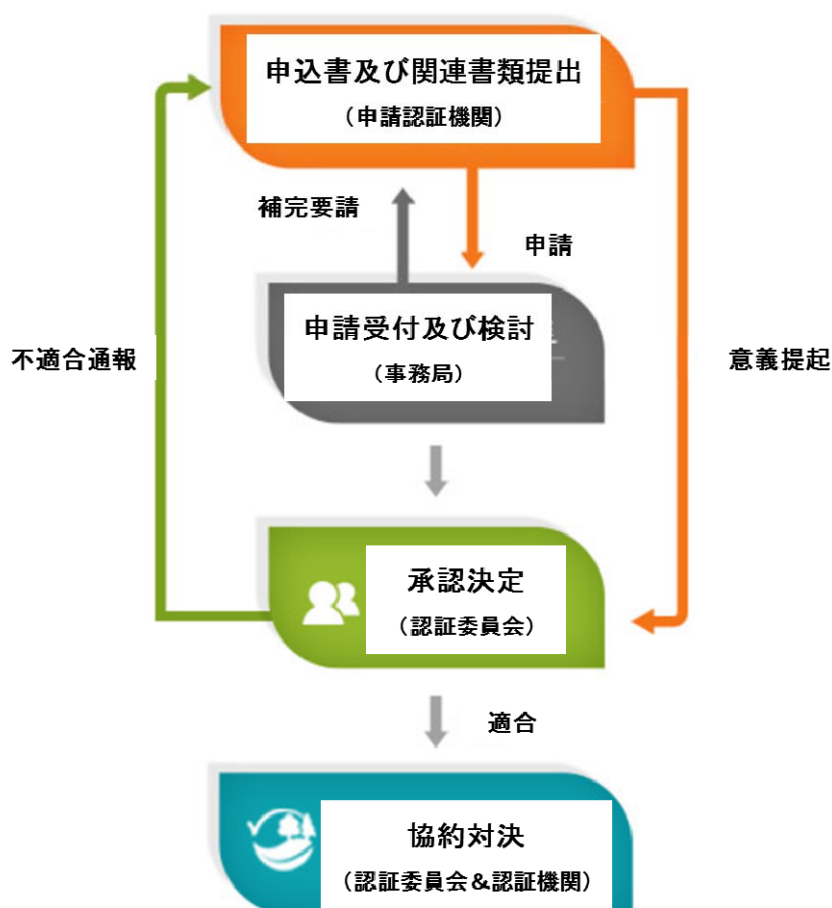


図 8 韓国山林認証制度における認証機関の認定結果の公示

注： FM 認証機関の認定：韓国認定支援センター (KAB)

CoC 認証機関の認定：国家技術標準院 (KAS)